

一般社団法人 全国高圧ガス溶材組合連合会会報

全溶連

令和2年7月 第193号 www.zenyoren.com/

●全溶連 みんなで創ろう 新たな未来
●新時代 つないでいこう 保安意識



あべのハルカス

写真提供：大阪組合事務局長 都田孝治氏

会長挨拶	2
第77回通常総会事業報告	3
単位組合紹介	8
賛助会員の広場	9
お知らせ	11

会長挨拶

2020年6月4日に予定しておりました本年度第77回通常総会につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大による非常事態宣言が発令されたため、大規模集会を伴う開催場所の使用が困難となり、従来の集合形式での開催は中止とさせて頂くことといたしました。事前に社員の皆様に送付させて頂きました同意依頼書により全社員の同意が得られましたので、本年度の第77回通常総会につきましては適法に成立し、また、当該決議事項につきましても適法に決議されました。

この結果につきましては、会報誌第193号(7月号)にて報告することといたしました。

はじめに深尾会長より今第77回通常総会の中止にあたり、ご挨拶を申し上げます。

2020年6月4日に開催を予定していた第77回社員総会については、今般の新型コロナウイルスの感染拡大を鑑みて、皆さま方の安全を第一に考慮した結果、開催を中止とさせて頂きました。ご出席の準備をされていた皆様には大変ご迷惑をおかけいたしましたこととお詫び申し上げます。

さて、現在も世界の多くの国で、多くの人々が新型コロナウイルスの猛威に苦しんでいます。感染された方々にお見舞いを申し上げますとともに、不幸にもお亡くなりになった方々に謹んで哀悼の意を捧げます。

また、世界各地でこの前例のない災禍に立ち向かい、医療をはじめあらゆる局面において治療や感染の予防、社会システムの維持などに奮闘努力されている方々に、深く感謝の意を表します。

新型コロナウイルス感染問題が一日も早く終息し、社会、経済の早期正常化を願うばかりです。

前回全溶連大会は、北陸高圧ガス溶材組合主催により、2019年6月4日に開催されました。次回の第78回全溶連大会は、2021年6月3日で、2007年の第64回大会以来14年ぶりの九州大会となります。全国の全溶連会員各位をつつがなくお迎えするべく、鋭意大会準備を進めて参ります。

全溶連の活動方針については、今後も保安に向

けた活動の基本的な部分は変わりません。当連合会は高圧ガス流通業界唯一の全国組織であり、消費先での保安確保を最優先課題として取り組んでおります。昨年は全国各地で大規模な自然災害が発



深尾 会長

生し、甚大な被害をもたらしました。災害時には高圧ガス容器の流出の危険性もありますので、災害対策にも積極的に取り組んで参ります。

また、消費先における災害事故は高止まりにある状況です。経済・保安ワーキング活動を通じて事故防止に向けた建設的な議論を進め良い方向にもっていきたいと考えています。

具体的な活動内容としては、高圧ガス停滞容器全国一斉特別回収の継続実施や高圧ガス不明容器処理の対策・推進、自主保安活動と消費者への保安対策の強化、推進などを予定しています。なお、消費者保安講習テキストは4年ぶりの改訂版を発行し、周知文書の記載内容を解説する解説書を周知文書全文解説書と題し8年ぶりに全面改定いたしました。

今後は、官庁・業界との密接な連絡、関係法令の伝達指導や組織の整備拡充強化に向けた会員増強にも力を入れて参ります。

自主保安活動の更なる浸透に向けては、業界内外に我々全溶連の活動をアピールしていく必要があります。特に放置容器など長期停滞容器の問題は、腐食が進行した場合に破裂の危険性などが排除できないため、業界全体で取り組むべき課題です。長期停滞容器の危険性と解消に向けた活動の意義を消費現場に理解して頂けるよう啓発チラシやポスターなどの配布を通して一層広く浸透させていきたいと考えています。

引き続き、会員皆様の一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

第77回 通常総会事業報告

第1号
議案

2019年度
事業報告承認の件

1. 全溶連の環境

昨年は、米中貿易摩擦の激化は両国の報復関税の応酬に至り、世界経済に影響をもたらしました。また、我が国では、韓国に対する輸出管理対応により相互の関係が悪化の一途をたどる中、回復基調にあるとされながらも、今後の日本経済は予断を許さない状況が続いております。

一方、国内では近年台風による河川の氾濫、土砂災害などの自然災害が頻度・規模ともに拡大して、従来の常識が通用しないレベルの災害が多く発生しています。これに伴い、河川の増水に伴う高圧ガス容器流出による社会的不安の抑制のためにも、流出防止対策が迫られております。

また、新型コロナウイルス感染症への対策として3月に開催予定していた経済・保安合同委員会は、感染拡大防止のため中止といたしました。

高圧ガスは人々の生活だけでなく産業用、医療用の分野に加え、防災対策上も必要不可欠な資源であります。災害時には業界全体が、安定供給と保安確保に支障をきたすことのないよう、災害規模に応じた適切な対応はもとより、減災、防災のための対策として被災情報の収集など、関係機関との連携強化が求められます。

さて、全溶連を取り巻く環境は、原材料の高騰、人手不足等々厳しい状況に変わりありません。また、働き方改革への対応、AI等による生産性の向上といった課題は、高圧ガス業界としても避けて通ることはできません。

消費先における高圧ガス災害事故状況は、依然として高水準で推移しています。その事故原因は多岐に及びますが、いずれの事象においても誤操作・誤判断によるヒューマンファクターが上位を占めます。このため、消費先において取扱いガスの特性や機器の使用方法を再確認頂くことが重要な課題であります。

全溶連としましては、会員に対し、高圧ガス保安法に係るコンプライアンス徹底の一環として、

消費現場における需要家の皆様の自主保安活動を推進しております。

また、放置容器の危険性も見過ごすことはできず、高圧ガス容器回収、早期返却、高圧ガス保安契約締結を進める一方、鳥インフルエンザ、豚コレラ対応についても行政と関係団体と協力して引き続き取り組んでまいります。

こうした中、全溶連では自主保安活動の一環として、消費者向けの高圧ガスを安全にご利用頂くための保安文書、販売店向け社内教育の文書を多数刊行しております。

今後も消費者保安の確保に向けて保安文書改訂、新規発行に一層注力して参ります。

これらを含め、関係行政機関や関連業界のご指導ご支援をお願いしながら、「保安を何より優先させて、消費者における高圧ガスの安全・安心を図る」という基本を常に意識して、自主保安活動に着実に取り組んで参る所存でございます。

2. 事業活動の状況

(1) 第76回全溶連大会の開催

2019年6月4日、ホテル日航金沢において第76回全溶連総会・大会が北陸高圧ガス溶材組合の主催で開催され、総会後の大会式典には240名の出席を頂きました。第2部では、石川県の人気温泉旅館の加賀屋による「加賀屋の流儀」と題した記念講演が行われ、引き続き開催された懇親会では、伝統芸能、ビックバンドによるアトラクションを企画し、実行委員会が手配した銘酒が振る舞われ歓談のひと時を堪能頂きました。翌日は、オプションとして金沢市内観光、ゴルフコンペで参加者の親睦が図れました。

(2) 高圧ガス保安確保への対応

全溶連は消費先の保安確保を最重要課題として取り組んでおりますが、決して事故が全体として減少に向かっているとは言い難い状況です。

全溶連としては、会員への高圧ガス保安法のコンプライアンスの徹底と商慣行改善を目指す一環として、消費先の皆様の自主保安の強化を図っております。

「周知文書解説書」は発行から8年経過し、その間、法改正、新規にLP周知文書が発行されたことから昨年10月に全面改訂いたしました。併せて、消費者保安講習テキストの充実を図るため4年ぶりに改訂し、各地域で開催される講習会で利用頂いております。

高圧ガス保安協会の支援のもと、第5期（2017年4月1日より2020年3月31日まで）の放置容器処理事業の最終年度がスタートしました。第5期3年度の処理内容は、毒性ガス容器5本、アセチレン容器303本を処理しました。

また、関連諸団体と連携して第31回目となる高圧ガス容器の全国一斉特別回収を2019年10月1日から31日までの期間にて実施しました。

(3) 全溶連福祉共済団体保険の拡充

全溶連福祉共済団体保険は昭和59年より全溶連組織のスケールメリットを活かした割安な掛金で大きな保障を得られる共済制度としてスタートして以来、会員各社の福祉と組合財政に大きく寄与させて頂いております。

しかしながら、会員の統合・合併、廃業等の影響で加入人員、加入口数とも減少傾向にあります。

加入促進の対策として第8回目のキャンペーンを2019年10月から2021年3月の間でポイント加点基準による「ポイントゲットキャンペーンPART3」を実施し、ポイント上位5組合について第78回大会で表彰する予定です。

(4) 全溶連賠償責任保険の拡充

2019年度の募集結果は507社の加入で前年度に比較し、6社の増となりました。保険料は58,625千円、前年比2,418千円の増額となりました。目標としている加入率50%に比較し、2019年度は54.1%と目標数字を若干上回りました。

(5) 高圧ガス溶材企業年金基金の現況

当基金は、平成2年10月に「全溶連」を母体として「全国高圧ガス溶材卸厚生年金基金」を設立し、その後平成29年7月1日付けで「厚生年金基金」から「企業年金基金」に移行いたしました。移行後はより健全な財政水準を維持でき、基金運営は概ね順調に推移しております。

令和2年3月末現在で加入事業所370社、加入員9,889名、年金受給者1,585名、年金資産総額約94億円の規模となっています。

基金制度は事業主の皆様からお預かりした掛金を年金資産として国内外の株式や債券等で運用

し、その収益をもって基金独自の年金を支給する仕組みですが、2月以降は「新型コロナウイルスの感染拡大」が世界的規模となり、金融市場への混乱が年金資産運用にも影響を与えております。当面は上下幅の大きい相場環境が予想されますが市場動向に細心の注意をもって収益確保に努めてまいります。

当基金は公的年金を補完する仕組みとして、また会社を支える従業員の福祉向上の要請に応えるためにもその役割は今後も重要になってきております。

また、中小企業の福祉向上策として母体業界におけるより良い人材の確保および定着を図るためにも益々大事な役割であるものと確信しています。

3. 委員会活動の状況

(1) 総務委員会

2020年2月13日（木）第1回総務委員会を開催した。

議題 ①第77回全溶連総会（大阪）準備状況に関する件および第78回全溶連大会（九州）に関する件

②2020年度事業計画（案）について

議題①第77回全溶連総会は2020年6月4日（木）メルパルク大阪にて開催準備を進めており、第78回全溶連大会は、2021年6月3日（木）にホテル日航福岡にて開催を予定している。

議題②基本的に2019年度の事業を継続していく事で決定した。

(2) 組織委員会

2019年11月15日（金）組織委員会を開催した。

議題 ①2019年度組織委員会活動方針について

②全溶連組織の現状と会員数の推移について

③加入促進について

・全溶連会員・賛助会員

④全溶連加入メリットについて

議題①前年に引き続き組織の整備・拡充強化と会員増強をいかに図っていくかを基本に活動していく。

議題②会員数は2019年4月に比べ同年10月では△11社の1,388事業所となっている。

議題③未加入の会社が賠償保険加入を目的として2社入会した。賛助会員については、引き続き加入促進に取り組む事となった。

議題④全溶連会員増強の基本方針を確認し、加

入メリットとして、全般的、保安事業、福祉共済事業の3つ内容について取り纏めた。

(3) 財務委員会

2020年1月15日(水) 財務委員会を開催した。

議題 ①2019年度収支決算見込(案)について

②全溶連財務状況について

③2020年度収支予算(案)について

議題①2019年4月より2020年3月までの決算(案)が承認された。当期予算利益△1,085千円に対し、利益は269千円の見込みである。利益処分案として前期繰越利益11,776千円に当期利益269千円を加え、次期繰越金として12,046千円とする。

議題②会費収入は11社減の△126千円、保安事業関係の頒布収入は周知文書解説書の改訂版発行により増収し、共済事業関係は減収し、2019年度の正味財産は前期比292千円減の56,484千円の見込みである。

議題③基本収入26,528千円、保安事業収入9,070千円、共済事業収入6,212千円等の収入合計43,460千円、契約社員更新、HP作成費用増、前年度繰越金11,776千円を加算した55,236千円の規模で評議員会に上程することが承認された。

(4) 経済委員会

2019年10月4日(金) 第1回 経済委員会を開催した。

議題 ①2019年度経済委員会活動方針について

②賠償責任保険制度について

③消費税軽減税率について

④保安文書価格改定について

⑤豚コレラ対応について

⑥その他

議題①保安契約の促進に関する取り組み強化、容器指針の策定と活用の推進で43県より指針が出され残り4県については保安委員会と合同で取り組む。高圧ガス販売店の教育支援資料を提供中であるが、新たな要望についても検討する。

議題②2019年度の加入者数507社となり前年比6社の増となった。合計保険料は58,625千円と前年比2,418千円の増額となった。

課題③10月に8%から10%にアップしたが、ガスに関わる消費税軽減税率について説明した。

議題④消費税アップに伴い、全溶連保安文書価格を見直すこととし、端数は避けて10円単位の価格に設定した。

議題⑤2月に長野県で発生した豚コレラについて、長野県組合の取り組み報告を実施した。実施後の行政に対しての要望、問題点について報告された。

議題⑥ネット販売については、経済・保安WGでアンケート調査を行い、ある程度の影響力はあったと思われる。

(5) 保安委員会

2019年10月24日(木) 第1回 保安委員会を開催した。

議題 ①2019年度保安委員会活動方針について

②高圧ガス事故(消費先)の現状と放置容器の処理推進の件

③自主保安活動の充実について

④JMGA「塩素と特定の可燃性ガス混載禁止の規制緩和」の説明

⑤その他意見交換

議題①活動計画としては自主保安活動の強化を中心とし、保安文書の改訂と新規発行、放置容器の処理促進、保安講習会に対する支援活動の強化を進める。

議題②消費先の災害事故の原因は依然として設備の維持管理の不良、誤操作・誤判断、作業環境の不適といったヒューマンエラーが中心である。

第5期最終年度の放置容器処理事業(特別枠=1千万円/3年間)は2019年4月より2020年3月までの期間で開始された。2019年度は内容物不明容器3本、毒性ガス容器4本、アセチレン容器260本を処理する予定である。

議題③2019年度周知文書は、26万部から27万部発行している。LPガス周知文書は1万部を超える需要があり、2019年度から溶接溶断用と同様に発行年度を記載する。「周知文書解説書」は新規発行から7年経過していることから全面改訂を図るため保安委員会全員参加による文書校正を行い10月に完成した。「保安テキスト」についても5年ぶりに内容を見直し改訂版を発行した。

議題④JMGAより「塩素と特定の可燃性ガス混載禁止の規制緩和」について説明会を行った。

(6) 経済・保安合同委員会

2020年3月26日(木) 第1回 経済・保安合同委員会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を中止した。予定していた合同委員会資料は各委員に配布した。

(7) 厚生委員会

2019年9月20日(金) 第1回厚生委員会を開催した。

- 議題 ①2019年度厚生委員会活動方針について
②福祉共済制度の運用状況について
③2020年1月更新時の募集について
④新キャンペーンについて

議題①前年同様団体定期保険、傷害補償、医療補償、GLTD(長期障害所得補償)の加入促進を基本に活動していく。

議題②2019年8月の加入事業所数は356社、加入数3,764名と1月に比較し事業所数で4社増、加入人員では17人減、加入口数では57口減となった。

議題③2020年1月更新分からの保険料について、掛け金は前年同額の580円で募集。

議題④2019年10月から2021年3月までの期間で、前回のポイント加点を見直し上位5組合を全溶連大会で表彰する。

2020年2月13日(木) 第2回厚生委員会を開催した。

- 議題 ①2020年度福祉共済制度の更新結果について
②キャンペーンについて

議題①9月の委員会で保険料が未確定であった

が、掛金は前年同額の580円、保険料も370円で決定した。

議題②ポイントゲットPART3キャンペーンの集計結果報告

(8) 広報委員会

2019年9月13日(金) 広報委員会を開催した。

- 議題 ①2019年度活動方針について
②2019年度会報誌発行スケジュール及び掲載記事について
③特集記事 新春座談会、単位組合紹介について
④賛助会員紹介記事について
⑤写真コンテスト開催について

議題①2019年度事業計画は会報誌の発行、ホームページの改変を基本とする。

議題②従来通り年4回の発行。

議題③今年度の新春座談会は栃木組合、来年度は山口組合でお願いすることとした。

単位組合紹介は、10月号(北陸)、1月号(京都)、4月号(奈良)、7月号(大阪)とする。

議題④新規加入の賛助会員を優先したスケジュールで行う。

議題⑤10回目となる写真コンテストを開催することとし、優秀作品は会報誌の表紙に掲載することとした。

第2号 議案

2019年度 収支決算承認の件

収入の部

単位=千円

科 目	2019年度予算	2019年度決算
1. 基本収入		
会費収入	26,528,000	26,402,000
2. 事業収入		
保安事業関係	9,070,000	10,466,084
共済事業関係	6,212,000	6,120,057
(事業収入合計)	15,282,000	16,586,141
3. 全溶連總會収入	0	0
4. 事業外収入	1,650,000	1,746,471
収 入 合 計	43,460,000	44,734,612
5. 前年度繰越金	11,776,651	11,776,651
総 合 計	55,236,651	56,511,263

支出の部

単位=千円

科 目	2019年度予算	2019年度決算
1. 事業費		
保安事業関係	5,529,000	5,702,947
共済事業関係	880,000	855,534
その他事業費	5,640,000	4,624,374
(事業支出合計)	12,049,000	11,182,855
2. 会議費	2,890,000	2,807,093
3. 管理費	26,486,500	26,207,245
4. 総会・大会準備金	3,000,000	4,000,000
5. 営業外費用	120,000	368,325
支 出 合 計	44,545,500	44,565,518
6. 次年度繰越金	10,691,151	11,945,745
総 合 計	55,236,651	56,511,263

2019年度利益は次年度繰越金11,945,745円ー前年度繰越金11,776,651円=169,094円となりました。

財産目録

単位：千円

流動資産（現金・預金等）	60,070,942
固定資産（敷金）	5,040,500
資産合計	65,111,442

流動負債（未払費用等）	1,057,378
固定負債（大会準備引当金等）	7,108,319
負債合計	8,165,697

差引正味財産	56,945,745
負債並びに正味財産合計	65,111,442

次に利益処分案として本年度利益169,094円を前年度繰越利益11,776,651円に加えた11,945,745円を次年度繰越金とする利益処分案が提案され第2号議案は承認されました。

第3号
議案

2020年度事業計画（案）

1. 高圧ガス保安法及び関連法規の周知徹底とその遵守
2. 高圧ガス保安法に基づく「周知義務」の履行と徹底
3. 主管庁との密接な連絡・関係法令の答申並びに伝達指導
4. 自主保安活動並びに消費者への保安対策の強化・推進
5. 関連業界及び団体との共同事業の推進
6. 高圧ガス停滞容器全国一斉特別回収の継続実施
7. 高圧ガス不明容器処理の対策・推進
8. 組織の整備・拡充強化と会員増強努力
9. 福祉共済制度・団体定期保険（キャンペーン）及び傷害補償、医療補償、GLTDの拡充並びに賠償責任保険制度の普及
10. 会報誌の発行、各種保安文書・資料の頒布
11. 第77回全溶連総会（大阪）の開催および第78回全溶連大会（九州）の準備
12. 「高圧ガス溶材企業年金基金」の拡充

第4号
議案2020年度収支予算（案）
承認の件

収入の部

単位＝千円

科 目	2019年度実績	2020年度予算
1. 基本収入 会費収入	26,402,000	26,396,000
2. 事業収入 保安事業関係 共済事業関係 (事業収入合計)	10,466,084 6,120,057 16,586,141	8,740,000 6,087,000 14,827,000
3. 全溶連総会収入	0	960,000
4. 事業外収入	1,746,471	1,700,000
収 入 合 計	44,734,612	43,883,000
5. 前年度繰越金	11,776,651	11,945,745
総 合 計	56,511,263	55,828,745

支出の部

単位＝千円

科 目	2019年度実績	2020年度予算
1. 事業費 保安事業関係 共済事業関係 その他事業費 (事業支出合計)	5,702,947 855,534 4,624,374 11,182,855	5,240,000 860,000 5,600,000 11,700,000
2. 会議費	2,807,093	3,700,000
3. 管理費	26,207,245	27,278,500
4. 総会・大会準備金	4,000,000	1,700,000
5. 営業外費用	368,325	120,000
支 出 合 計	44,565,518	44,498,500
6. 次年度繰越金	11,945,745	11,330,245
総 合 計	56,511,263	55,828,745

2020年度の利益は次年度繰越金11,330,245円から前年度繰越金11,945,745円を引いた額▲615,500円とする予算案が提案され第4号議案は承認された。

単位組合紹介

大阪高压ガス熔材協同組合

所在地 〒550-0013

大阪府大阪市西区新町1丁目14番37号 フジビル6階

TEL: 06-6535-3301 FAX: 06-6535-3303

理事長 吉田充孝

設立 昭和35年7月11日

会員数 124社



吉田充孝理事長

組織

①役員数及び人数

理事23名、監事3名

内訳：理事長1名、副理事長1名、専務理事1名、常務理事4名

②委員会及び支部

委員会構成：総務・企画委員会、保安委員会、厚生委員会、教育委員会、容器委員会

支部構成：中央支部、東支部、西支部、南支部、東北支部、淀川支部、城南支部、阪南支部

主な活動内容

①放置容器の啓発・回収対象を拡大した地域の保安活動

当組合では、容器委員会を中心に長期停滞容器、所有者不明放置容器の早期回収の啓発活動に取り組んでいます。

まず、組合員への啓発活動としては、全溶連主導のもと、秋季に実施される全国一斉容器回収運動に加え、組合独自でも夏季に所有者不明容器の合同回収を行なう等、放置容器の調査機会を増やし、長期停滞容器等の発生を未然に防ぐ取り組みを行っています。

また、地域住民等の方々への啓発活動では、大阪府内の高压ガスの許認可等の権限を有する「高压ガス保安三法事務連携機構おおさか」、近畿圏内の所有者不明・放置容器の対策事業を行なう「近畿高压ガス容器管理委員会」及び当組合の三者により、大阪版放置容器早期回収の啓発ポスター・チラシを毎年度作成、公共交通機関の駅貼りポスター、各

消防本部が参加する地元住民・企業向けの集会等々でのチラシ配布などを行っており啓発活動の結果、一般住民等の方々からの容器回収要請は、年間平均50回、140本程度を占めるまでになり、身近にある放置容器に関心を頂くなどの効果となっています。

②保安教育への取組

保安委員会が主として保安教育等を担当、組合員事業所の販売主任者を主に対象とする研修会、一般消費者を対象とする講習会を各々年1回、行政、高压ガス関係保安団体との共催により年2～3回開催しています。全溶連より頒布される保安教育資料についても普及周知を行なっています。

③保安活動以外の事業活動について

溶接・溶断の作業現場で必要とされるガス溶接、アーク溶接の資格を得るための講習会を教育委員会が実施しています。両講習会とも年間4～5回行っており、溶接作業現場での安全教育の向上に大きく貢献しています。

また、全溶連が推進する福祉共済保険、第三者賠償責任保険等の保険事業については、厚生委員会・保安委員会が担当、支部会開催時に委員が出席の上、加入者の増加に努めています。

以上のように、当組合はそれぞれの委員会活動が活発ですがそれを支えるのが理事を含めた組合役員、組合役員を支える支部会員であり、今後も組合員企業に役立つ事業組合として、地道な活動を行なってまいります。

賛助会員の広場

あいおいニッセイ同和損保なら

夜間・休日も事故対応



**24時間365日
平日同等の対応**

夜間・休日でも当社社員が対応する専用のサービスセンターを作りました。これにより、夜間・休日でも**平日と変わらない事故対応**を実現しました！

夜間・休日でも、こんな対応ができるようになりました！

保険金をお支払いできるか
ばっちり
判断！



お車の損害状況を確認して
すぐに
修理手配！



事故の相手方との
示談交渉も
しっかり
電話対応！



あいおいニッセイ同和損保

MS&AD INSURANCE GROUP

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 〒150-8488 東京都渋谷区恵比寿 1-28-1 <https://www.aioinissaydowa.co.jp/>

公式HPは
こちらから



精密さとパワーで建設の現場を支える。

500A 余裕の溶接性能、炭酸ガスエンジン溶接機の最高峰。

ディーゼルエンジン**炭酸ガス**溶接機

DCW-500LSE

3つのモードで
最大 500A



炭酸ガス溶接



手溶接



カウジング

+

交流電源
三相 25 kVA

交流電源
単相 9.9 kVA



新型溶接モニターで
きめ細かく溶接条件を
設定できます！



製品動画はこちら

余裕のエコベース容量

燃料 46L
潤滑油 9.7L
冷却水 7.9L
総液体量 63.6L

エコベース
空間容量
70L



技術で明日を築く
デンヨー株式会社

本社：〒103-8566 東京都中央区日本橋堀留町2-8-5
TEL: 03(686)1112 FAX: 03(686)1182

札幌営業所 011(862)1221
東北営業所第1課 019(647)4611
東北営業所第2課 022(254)7311
信越営業所 025(268)0791
北関東営業所 027(360)4570

東京支店 03(686)11122
横浜営業所 045(774)0321
静岡営業所 054(261)3259
名古屋営業所 052(856)7222
金沢営業所 076(269)1231

大阪支店 06(6448)7131
広島営業所 082(278)3350
高松営業所 087(874)3301
九州営業所 092(935)0700

www.denyo.co.jp



まだ、溶接ゲージで測っていますか？

非接触で計測

1カ所にレーザ光をあてるだけで、溶接ビードの断面を非接触3次元計測！



新発売 3D Handy Scanner

LC-GEAR

3Dハンディスキャナ脚長計測パッケージ

今まで計りにくかった箇所も計り易い、ハンディタイプ
誰にでも使える、計測をデジタル化する現場支援ツール

神鋼商事

SHINSHO CORPORATION

<http://www.shinsho.co.jp>

実機
貸出中

溶材部

〒104-8389 東京都中央区京橋一丁目7番2号(ミュージアムタワー京橋)
TEL.03-5579-5404 Fax.03-5524-5790

〒541-8557 大阪市中央区北浜二丁目6番18号(淀屋橋スクエア)
TEL.06-6206-7184 FAX.06-6206-7196

〒450-6421 名古屋市中村区名駅三丁目28番12号
TEL:052-563-8201 FAX:052-584-6400



現場穴あけ作業は

コードレスの時代へ



は工機ホールディングス
株式会社の商標または
登録商標です。

穴あけ加工数
約 **20%**
アップ

穴あけ加工時間
約 **40%**
短縮

※当社従来品比 板厚16mm、穴径22mm、
材料SS400の場合

全高
150mm



最大穴径
φ27mm

最大板厚
25mm

携帯式磁気応用穴あけ機

アトラエース® コードレスタイプ

型式 **CLO-2725 / CLO-2725(NN)**

PAT.P
D.PAT

CLO-2725

バッテリー・
充電器・
キャリーケース 付き



CLO-2725(NN)

バッテリー・
充電器・
キャリーケース なし



動画サイト

技術で、人を想う。

日東工器株式会社

本社・研究所／東日本支社 〒146-8555 東京都大田区仲池上2-9-4 Tel:03-3755-1111(大代表)
西日本支社 〒537-0001 大阪府大阪市東成区深江北2-10-10 Tel:06-6973-5501(代表)
中日本支社 〒465-0092 愛知県名古屋市中東区社台3-173-2 Tel:052-726-9041(代表)
支店 札幌／仙台／新潟／松本／北関東／埼玉／八王子／東京／静岡／浜松／三河／名古屋／
北陸／京都／大阪第一／大阪第二／兵庫／高松／岡山／広島／福岡
海外拠点 アメリカ／ドイツ／イギリス／タイ／インド／シンガポール／インドネシア／オーストラリア／中国

●お客様相談窓口(土・日・祝日を除く)

受付時間/AM8:30~PM5:15

0120-210-216

www.nitto-kohki.co.jp

全溶連ホームページ
会員専用ページへの

新規メンバー 登録方法

インターネットを開きアドレスバーに
[http://www.zenyoren.com/
pwmgr/index.html](http://www.zenyoren.com/pwmgr/index.html)
を入力。

新規登録メンバー画面が開きますので必要事項を入力し送信します。ご自身のメールに「ログインID・パスワード」が通知されますので、再度全溶連ホームページの会員専用ページへアクセスし、必要事項を入力して下さい。また、会員登録の方法は、全溶連ホームページの会員専用ページの見本を参照して下さい。
登録すると定款・規程・会員名簿・役員名簿・委員会名簿・議事録が見られます。

ぼくはボン兵衛くん

原作：封蝸(ふうか) 作画：ひくさん

第三十話 「OO怖い」の巻



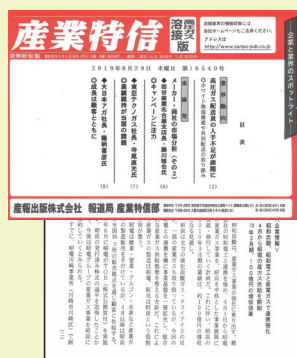
日刊産業特信

溶接 高圧ガス版

休刊日：土曜、日曜、祝祭日、
夏期、年末年始
購読料 6カ月：30,000 円
1年：60,000 円（税別）

わが国の工業界において、重要な役割を果たしている溶接関連機器製造会社やその販売会社、溶接材料製造会社やその販売会社、高圧ガス製造会社やその販売会社等、溶接に携わる産業界の一手一投足を、関係者の日々の業務指針となり得るように、正確かつ迅速に報道する権威ある業界唯一の日刊速報紙。

●購入のお申し込みは… 産報出版株式会社 TEL：03-3258-6411
FAX：03-3258-6430



全溶連・福祉共済制度(医療補償・長期収入サポート制度)にご加入のみなさまへ

新型コロナウイルス感染症に罹患した場合の 補償内容についてご案内いたします

■医療補償(XD・YDタイプ)(団体総合生活補償保険)※

被保険者が新型コロナウイルスに感染し、次のいずれかに該当する場合も、入院したものとして取り扱い、保険金のお支払対象とします。

- (1) 医師の管理下においてまたは医師の指示により臨時の医療施設(ホテル、宿泊ロッジ、体育館、公民館等)に入り治療を受けた場合
- (2) 医師の指示により自宅で療養した場合

■長期収入サポート制度(団体長期障害所得補償保険)

被保険者が新型コロナウイルスに感染したことにより身体障害が発生し、免責期間をこえて就業障害が継続したことにより所得が減少した場合も保険金お支払いの対象となります。

※傷害補償は、新型コロナウイルス感染症を補償する特約はセットしておりません。2021年1月1日始期分より、DAプラン(24時間補償)のオプション特約を準備中です。(募集パンフレットは10月頃配布になります)

傷害補償全タイプに

「天災危険補償特約」と 「熱中症危険補償特約」が追加されました!

全溶連・福祉共済制度
傷害補償
(団体総合生活補償保険)

企業の福利厚生としてご活用いただいています。

毎月加入
できます

福祉共済制度のパンフレットをいますぐ確認!!

■補償内容および掛金

(1口あたり・最高10口まで)

掛金は右記のとおりです。
加入タイプと加入口数を選
んでお申し込みください。

※団体定期保険にご加入の
事業所が加入できます

補 償 内 容	業務上のケガを補償			24時間補償
	AAタイプ	BAタイプ	CAタイプ	DAタイプ
加入セット名	AAタイプ	BAタイプ	CAタイプ	DAタイプ
傷害死亡・後遺障害保険金額	100万円	—	—	100万円
傷害入院保険金日額	1,500円	1,000円	1,000円	1,500円
傷害手術保険金	入院中に受けた手術:傷害入院保険金日額の10倍 入院中以外に受けた手術:傷害入院保険金日額の5倍			
傷害通院保険金日額	—	—	500円	500円
1名・1口あたりの月額掛金	90円	40円	90円	370円

このご案内は概要を説明したものです。ご加入にあたっては必ずパンフレット(「全溶連・福祉共済制度のご案内」)および「重要事項のご説明 契約概要のご説明・注意喚起情報のご説明」をあわせてご覧ください。また、詳しくは「ご契約のしおり(普通保険約款・特約)」をご用意していますので、取扱代理店または引受保険会社までご請求ください。ご不明な点につきましては、取扱代理店または引受保険会社にお問合わせください。

団体お問合わせ先 一般社団法人全国高圧ガス溶材組合連合会 TEL 03-5296-0430

取扱代理店 株式会社 星和ビジネスリンク
〒108-0014 東京都港区芝4-1-23
TEL 0120-288-270 (平日9時～17時)

引受保険会社 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
広域法人開発部 営業課
〒103-8250 東京都中央区日本橋3-5-19
TEL 03-6734-9608

(2020年6月承認) B20-100983

発行所

一般社団法人 全国高圧ガス溶材組合連合会

東京都千代田区神田北乗物町12(大竹ビル) Tel.03-5296-0430 Fax.03-5296-0435

http://www.zenyoren.com/ e-mail:honbu@zenyoren.com